

第2520地区

 ひろがれ
 まわれ
 一つ心に
 2017~2018

MORIOKA
 ROTARY CLUB WEEKLY

第5回例会(8月4日)
 平成29年8月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 飯塚 肇
 川徳デパート内 幹 事 星 克彦
 例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代) 会 報 伴 亨
 例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019(653)5682
 http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー: 変化をもたらす'... イアン H.S. ライスリー
 盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕— 飯塚 肇



新入会員卓話

『サイバー攻撃とセキュリティ対策』

東日本電信電話(株) 岩手支店長

栗田 均 様

本日は、新入会員卓話の機会をいただき大変ありがとうございます。

まずは、画面をご覧ください。ミサイルのようなものが海外から日本におびただしく流れ込んできています。さてこれは何でしょう？実はこれは日本が海外から不正アクセスを受けている状況を見える可したライブ中継で、国の機関が公表しているものです。まさに今この時も日本はものすごい数と頻度で海外から不正アクセスを受けています。

2015年の統計によれば、日本は1年間で245億回もの不正アクセスを受けています。ということは1分間に11万回、日本中のパソコンやサーバが不正アクセスを受けているということですが、ほとんどのパソコンには「セキュリティ対策」がされていますので、このソフトが毎日毎日一生懸命これをはじき返しているということになります。

この不正アクセスの目的は、軍事・外交・警備などの安全保障に関わる情報や知的財産、個人情報(クレジットカード情報など)などを盗むため、その3割は中国からの攻撃だと言われていますが、昨今では北朝鮮やロシアからも多くなっているようです。先般のアメリカ大統領選挙ではクリントン候補のメールのやり取りなどが公表されスキャンダルになりましたが、それもロシアがサイバー攻撃を仕掛けてこれを盗みとりトランプ陣営を助けたなどと騒がれました。

こういったサイバー攻撃は岩手県内の身近な事

業所などでも発生しています。と言うことで、今日は猛威を振っているサイバー攻撃の実態と情報セキュリティ対策について、身近な事例を交えながらご紹介したいと思います。

これは、IPAが毎年公表している「情報セキュリティ10大脅威」という表です。1位は「標的型攻撃による情報流出」となっています。そして注目なのが、2位のランサムウェアによる被害で昨年は7位でしたが一気に2位に急上昇してきました。

今日は、この2つの脅威を中心にお話させていただきます。まずは、標的型攻撃メールについてです。標的型攻撃メールとは、ターゲットを定めてそのターゲットが所有する個人情報や機密情報を盗みとるために、関係者を装って添付ファイルにマルウェアと言われるウイルスを忍ばせてメールを送り込む手口です。ご存知のように、添付ファイルを開くとパソコンやデータを蓄積しているサーバがウイルスに感染し、様々な情報が社外に流出してしまうこととなります。

このマルウェアは、昔と違って容易に作れるというのが特徴で、しかも簡単に亜種ができるためこういったウイルスは毎日31万種ずつ増え続けているとの調査結果が出ています。

みなさんのパソコンにも「ウイルス対策ソフト」が入っていると思いますが、個人のパソコンならば1日1回、会社の業務用パソコンならば大体2

時間毎に新しいワクチン・ファイルに更新されていますが、もうその更新頻度では新しいウイルスを撃退できないのが実態で、それだけでは対策が不十分な時代になっているということです。

この新聞記事は、昨年6月に起きた「JTBさんによる個人情報流出事件」です。社員が添付ファイルにウイルスを忍び込ませたメールを開いてしまい、社内の顧客情報が793万件流出したという事故です。

この事件の流れ・ポイントを解説します。

攻撃者は1通のメールをJTBさんの社員に送りつけます。そのタイトルは「航空チケット確保のご連絡」、その内容は「ツアーに必要な航空チケットを手配できました、添付ファイルのチケット画像をご確認ください」というもので、旅行会社では毎日当たり前のようにやり取りするようなメールだったので、社員が気づかずにその添付ファイルを開いてみたらこれがウイルスだったということです。

そのウイルスは、JTBさんの社内ネットワークに外部にデータを運び出すための出口を作り、攻撃者に「出口を開けたよ」と連絡して役目を終えます。次に連絡を受けた攻撃者は次々にウイルスをJTBさんに送りつけ、そのウイルスが社内ネットワークの内部へと侵入し、サーバから個人情報をどんどん盗んでは出口から外に運び出すという顛末で、その数が実に延べ793万件だったということです。

この事件で最も残念だったのは、最初にウイルス感染を知ってから外部とのネットワークを遮断するまでに10日も要したということです。もしウイルス感染を認知してすぐに社内ネットワークを外部と遮断していれば、第2第3のウイルスが入り込んで出口から情報を運び出されるのを最小限に抑えられたはずです。

結果として10日間、毎日データを運び出されてしまったわけですが、この時代、ネットワークを遮断すれば全ての業務を止めるようなものですから、経営陣はかなり難しい判断を強いられ右往左往していたと思います。

また、最近、標的型攻撃メールで多いのは宅配業者を装ったメールです。これは、実際にヤマト運輸さんが公表しているヤマト運輸さんの名前を

装った標的型攻撃メールと注意喚起するお知らせです。「宅急便お届けのお知らせ」というメールですが、最近はネット通販も普及して宅配業者を利用する頻度が飛躍的に増えていますから、こういうメールには「警戒心が薄く」なっていますので十分な注意が必要です。また、このようなお知らせは、日本郵政さん、佐川急便さんのホームページにも掲載されています。

標的型攻撃メール自体は開いてもウイルスに感染することはありませんが、添付ファイルを開いたりメールに記載されているURLをクリックしてしまうと感染してしまいますので、対策はよりセキュリティの高い機器を備え付けるとともに、従業員がウイルスを開かないように教育を徹底するしかありません。

余談ですが、NTT東日本でも年に数回社員向けに「標的型攻撃メールの訓練」を行なっています。ところが、毎回7%ぐらいの社員が添付ファイルを開けてしまいます。もちろん「訓練」ですから添付ファイルを開いても実際にはウイルス感染しませんが、開いた社員やその上長はコツテリと叱られることとなります。

では身近な事故事例をいくつかご紹介します。

まずは三陸海宝漬けで有名な中村家さんです。2年ほど前にネット通販のホームページが標的型攻撃型メールにより感染し、内部に侵入されてそのサイトで買い物をしたお客様のクレジットカード情報が1400件以上盗まれたという事件です。当然、通販サイトの一時閉鎖・お客様へのご連絡とお詫び、ホームページのセキュリティ強化投資など、大きな打撃を受けました。

次は仙台の笹かまほこで有名な阿部蒲鉾店さんです。同じ手口で3,200件盗まれています。これも、通販サイトの一時閉鎖で「売上を失い」、お客様対応で「稼働を取られ」、セキュリティ強化投資のため「大きな出費を強いられ」ました。

次に、ランサムウェアと呼ばれている身代金要求型ウイルスについて紹介します。

ランサムウェアとはマルウェアの一種で、パソコンを感染させてロックさせたり、ファイルを暗号化することによって使用不能にしたのち、元に戻すことと引き換えに「身代金」を要求する不正プログラムのことです。このウイルスに侵入されると、まず普段使っているファイルが暗号により

ロックされて開かなくなります。それを開こうとすると「元に戻して欲しければカネを払え！」という身代金を要求されるのです。

ランサムウェア被害は、昨年の夏頃から一気に広まり拡大の一途を辿っています。もう「パンデミック」と言ってもいいくらい深刻な広がりを見せています。そして、ランサムウェアにかかるとこのような画面になります。ExcelやWordなどのファイルを開こうとすると、ファイル名の拡張子、例えばエクセルなら「.xls」、ワードなら「.doc」というのがファイル名の最後についていますが、これが「.VVV」に変更ロックされていて開けなくなってしまいます。そして、これを開こうとしてクリックすると「警告」が出てきて「復元してほしいければ金を払え」「お支払いはこちらから」といった具合に身代金を請求されるという流れです。

これは、ランサムウェア被害件数の推移を表にしたものです。実に1年間で3倍以上に増えているのがわかりますが、2016年から今年にかけては被害が飛躍的に拡大しているものと思われます。そして、被害者の6割以上が実際に身代金を支払っていて、その金額はなんと6割近くの被害者が300万円以上もの金額を支払っていることが明らかになっています。しかしながら、このランサムウェア被害、身代金を払っても結局ファイルは元に戻してもらえません。泣き寝入りしてパソコン等を買換えたり貴重なファイルを失っているのが実態です。

なお、中小企業において、ランサムウェア対策を講じているのはたったの6%で、ほとんどの企業では対策を施していないのが実態のようです。その理由を聞いてみると「うちは大企業や有名企業ではないから狙われないでしょ」という楽観的な答えが大半でした。みなさんの会社はいかがでしょう？ですが実態はというと、中小企業830社へのアンケート結果を見てもわかるとおり、何らかのサーバ攻撃を受けたことがある会社は実に7割に上っています。

みなさん、冒頭にお見せした「世界各国からのサイバー攻撃・不正アクセスの実態」を思い出してください。日本は今も大企業・中小企業・家庭、都会も地方も関係なく1分間に11万回の攻撃を無差別に受けているんです。

それでは、実際に岩手県内で発生したランサムウェア被害をご紹介します。ランサムウェア被害はお金を要求される被害なので新聞などにはほとんど載りません。これらの事例は当社の営業マンが相談を受けたり被害に遭ったと教えていただいたものですので、具体的な会社名などは伏せてご紹介します。(～省略～)

ランサムウェア被害に遭わないためには、とにかくマルウェアの侵入を防ぐしかありませんので、今以上に強靱なセキュリティ対策を施していただくことをお勧めいたします。できれば、パソコン等の機器に対する対策のほかに、社内ネットワーク自体への対策を講じていただければより効果が得られると思います。また、大事なファイルを護るためにも、重要情報はよりセキュリティの高い社外のクラウドに保管しバックアップをとっておくことをお勧めします。いずれにしても、ランサムウェア被害にあった場合は、身代金は絶対に支払わず、私でも結構ですし担当のベンダーに連絡してください。

みなさんは、会社や事務所のセキュリティレベルをご存知ですか？意外とどんな対策を講じているかも分からない方が多いのではないのでしょうか。ということで、最後に決して商売ではありませんが、みなさんにお勧めしたいものがあります。

それは、みなさんの会社や事務所のセキュリティ対策の状況を診断してみませんかというご紹介です。NTT東日本には、会社や事務所での情報セキュリティレベルや弱点を簡易に測定できるソフトがありまして、無料で診断させていただいております。まずは診断してみないことには会社や事務所の情報セキュリティ対策の「どこが弱いのか」「どんな改善が必要なのか」わかりませんので、是非測定してみてください。5分程度お時間をいただければ、CDを事務所のパソコンに入れるだけで測定し、レポートさせていただきますのでお申し付けいただければと思います。

本日は、ご静聴ありがとうございました。

例 会 報 告

第 5 回例会 平成 29 年 8 月 4 日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・国歌 君が代
- ・ゲスト タンバンペンスントン
シラナットさん (2017-18年度 米
山記念奨学生)
- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・新入会員紹介 砂子田 智会員
東北電力 岩手支店長 紹介者：
平井 滋会員
- ・皆出席バッチ 川村 登君 (46
年)。
- ・入会祝 斎藤和好君。
- ・誕生祝 熊谷祐三・川村勝浩・
塚田幸志君。
- ・結婚記念日 佐藤仁志君。
- ・幹事報告 星 克彦幹事
終了後定例理事会開催

【ニコニコ BOX】

◆榎崎憲二君…先日の納涼会では24時間テレビの募金にご協力いただきました。大変ありがとうございました。お寄せいただいた浄財は7万円余にのぼりました。今月26日から27日にかけて行われる全国一斉の募金とあわせて、福祉車両の贈呈や災害復興支援などに大切に使用させていただきます。まだまだ幼さの残る宮本麗美(れいみ)アナウンサーですが、多くの皆さんに温かく励ましの声をかけていただき、感激しておりました。岩野法光会員が宮本ファンクラブの第一号会員になると宣言してくださいましたが、たしか、去年、江口アミ・アナがお邪魔した際には岩野会員は「江口ファンクラブの第一号会員」と仰っていたはずで、二股をかけられていることを知って知らずか、当人は無邪気に喜んでおりました。当日、お礼のニコニコをすべきでしたが、宮本アナの僕(しもべ)として募金

箱を持たされたりしているうちに失念してしまいました。改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

◆大平騰一君…7月27日の盛岡グランドホテルでの納涼会は本年度親睦委員会での最初の行事でしたが、受付や司会、ニコニコの読み上げなど、親睦の各委員が持ち場で力を発揮して和やかな内に進行することが出来ました。工藤幸一社会奉仕委員長からご紹介いただいたジャミーラオリエンタルダンスカンパニーからのお二人もベリダンスで会場を盛り上げていただき楽しんでいただけたかと思えます。委員の活躍と皆様のご協力に感謝してニコニコします。

●メイクアップ

水沢東R.C.=長澤君。盛岡北R.C.=佐藤(仁)・佐藤(義)・吉田(育)君。盛岡南R.C.=伴君。クラブ委員会は藤村(文)・平野・三田・榎崎・大平・千葉・白石君。

出席報告

会員数/74名

出席数/46名

出席率/65.28%

前々回/79.17%

プログラムのお知らせ

- ・8月25日(金) 会員卓話 佐々木憲明会員
- ・9月 1日(金) 新入会員卓話 千崎和夫会員
- 7日(木) 会員卓話 (夜例会) 諏訪泰幸会員
- 15日(金) 特別休会
- 22日(金) 新入会員卓話 土屋克之会員
- 29日(金) 新入会員卓話 丸山 大会員



●本号編集担当 / 作田 尋